

天の星

No. 2
平成30年
4月20日(金)
発行

新1年生入学と在校生の進級に誘われるようにして一斉に桜が咲き学校にも春がやってきました。4月5日には一学期始業式・入学式が無事終了いたしました。

そして、本日20日で平成30年度がスタートして12日間がたちました。子どもたちは、毎日、学校に喜んで登校しているでしょうか。

朝の挨拶の眼の輝きや挨拶をしたときの返答・会釈等の爽やかさ、「校長先生！」と声をかけてくれる人懐こさが印象的です。また、始業式や入学式での整然とした入場や落ち着いた話の聴き方、校歌を一生懸命に歌う姿、児童会の当番活動に取り組む姿、腕まくりをして膝をついて黙々と清掃する姿など、心豊かな育ちの姿を目にし、「保護者の皆様に、そして地域の皆様に支えられて、子どもたちが豊かに育っているな」という思いを強くしています。こうした中込小の子どもたちの良さを更に伸ばすために、私たちはどのような姿勢で子どもたちに接していけばよいのか、考えていることを少しお話したいと思います。(H30年度グランドデザインをご覧ください。)



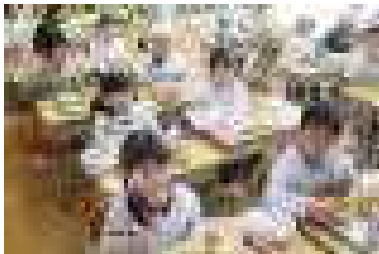
「さくうさく小径」で春さがし



本年度重点のキーワードは、「聴いて、考えて、動ける子ども」です。この「願う子どもの姿」と「教育目標」を具現する手立てとして、グランドデザインにいくつか載せてあります。この中で、特に、「自分の目標や学級の目標をもって行い、生活や行動を振り返ることを

大事にしてほしい」ことを1学期の始業式に、子どもたちに伝えました。挨拶や言葉遣いについては、多くの児童は良くできていると

思いますが、「自分から」「いつでも」「どこでも」できるようになってほしいです。また、「自分も周りの人も大事にできる子どもになってほしい」と願っております。そのためにも、挨拶や言葉遣いは人間関係を築く第一歩ですので、大事にしていきたいことです。挨拶につきましても、ご家庭でも「おはよう」「ただいま」「おかえり」「ありがとう」「はい」等の挨拶や返事の励行を大切にいただければと願います。



1年生も給食が始まりました

中込小は、心熱い地域の皆様、そして協力を惜しまない保護者の皆様に支えられていると、前校長の堀籠先生よりお聞きしました。そんな皆様の熱い思いと期待に応えられるよう、学校一地域一家庭との協力・連携を大事にして進めて参ります。中込小の子どもたちの安全を守る見守り隊の皆さん、読み聞かせボランティアの皆さん、中込っこクラブでお世話になる

地域講師の皆さん等々、地域の皆様には本当にお世話になり心より感謝しております。これからも地域の皆さんの教育力を活用させていただき、地域の皆さんと共に、この中込小に誇りをもち学校や地域を愛する子どもを育てたいと思います。平成30年度は358名の児童と32名の職員、合計390名が一つのチーム、「チーム中込小」となって、笑顔と感動が溢れる中込小学校を創っていきたく思います。私ども中込小職員は、この「チーム中込小」を合い言葉に、職員一丸となってお預かりしましたお子様一人ひとりの心を耕し、お子様が活躍できる土壌や雰囲気醸成して、小学校生活が豊かで充実したものとなるよう 精一杯励んで参りたいと思います。

最後に二つお願いを申し上げます。

一つ目です。担任の先生との連絡や相談を大切に、「つながり」「絆」をより強くものにいただけたらと願います。お子様のことで心配なことや気になること等ありましたら、遠慮なく直接学級担任にご相談下さい。勿論、関係職員や学年主任、そして、教頭・校長など、お話ししたい職員にもどうぞ。いつでも構いません。お気軽にお寄りいただければと思います。保護者の皆様と担任・学校との信頼の「絆」なくしては教育は成り立ちません。すべては大切な子どもたちの豊かな成長を願ってのことですからよろしく願いいたします。

二つ目です。私たちは、子ども達が「もっとやってみたい!」と意欲的になる姿、「自分にも出来るんじゃないかな?」と自己有能感をもとうとする姿を支えていきたいものです。そのような子どもの育ちを支えるためには、私たちに心のゆとりがなくてはなりません。子育ての時期と自分が仕事や家事に忙しく余裕がもてない時期とはどうしても重なってしまいがちです。私にも、もう就職している二人の子どもがおります。私は、仕事が忙しくバタバタと子育ての時期を過ごしてしまいましたが、今思えば小学校時代の子育てをもっと楽しんでじっくりやればよかったなあと反省しています。子どもの成長は待たないです。どうぞ、話をする・遊ぶ・食事をする・風呂に入る等の「一緒に〇〇をする」時間を大切に、今しかできない子育てを楽しみましょう。



支部子ども会。聴く姿勢がすばらしい。



100人近くの上履きがきれいに!



自分の命は自分で守る交通安全教室

平成30年度とは・・・平成という一時代の区切りの年度

新学習指導要領実施(2020年)に向けた移行措置開始

第3次長野県教育振興基本計画(2018年~2022年)の開始

- キーワード：・小学校外国語教育の早期化・教科化
・特別の教科道徳
・情報活用能力の育成(プログラミング教育)
・「主体的・対話的で深い学び」の観点から授業を見直し改善する。など



時代の変化に伴い、やらなければならないことが増えている。

前年度踏襲ではなく、各校が思い切った教育課程の見直しを迫られている。

【増やした分、何かを削る「スクラップ&ビルド」の発想で、何を精選するか考えたい】

学校における働き方改革のリーフレットについて

このリーフレットは、長野県教育委員会が策定したもので、長野県の学校のこれからの働き方改革の方向を示すものです。佐久市としても、教職員の代表や教育委員会の部課長等でプロジェクトチームを作り、佐久市としての改革について検討中です。ですので、本校でいつから留守番電話にするのか、いつが閉庁日なのかといったことは、具体的には決まっていません。県の方向や市のプロジェクトチームで検討された内容を受けて、本校でも具体的にどうしていくのかをPTAの皆様にお示ししながら考えていきたいと思っております。

どうぞ、ご理解ご協力をお願いします。

中込小学校に学ぶ子どもたち一人ひとりが、夢や希望をもち、安全で豊かで、楽しく、自らを向上・発展させることのできる小学校生活が築けますよう、保護者の皆様のご支援ご協力を重ねてお願いいたします。



心のこもった1年生を迎える会

